widex real™

取扱説明書
耳かけ形補聴器　リアル

RE-*m*

WIDEX®
high definition hearing

この取扱説明書で示している補聴器やイヤセット、付属品は、お客様がお持ちのものとは異なる場合があります。また、取扱説明書の内容は予告なしに変更される場合があります。

補聴器、付属品や電池を通常の廃棄物として処分しないで下さい。適切な処分方法については、その地区の法令に従って下さい。

目次

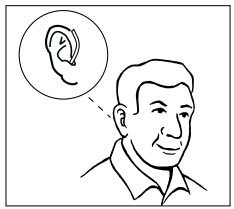
新しい補聴器.....6
イヤセット.....7
各部の名称と機能.....8
右耳用補聴器と左耳用補聴器の区別.....9
補聴器の電池.....10
電池の挿入方法.....10
電池の取り外し方法.....12
電池消耗時のお知らせ.....13
補聴器電源のオン/オフ(入/切)操作方法.....15
電源を入れたときの補聴器の設定.....16
音の大きさの自動調整.....16
リスニングプログラム.....17
リスニングプログラムの切り替え.....18
電話の使用.....19
標準フックとイヤモールドの場合.....20
補聴器とイヤモールドの装着方法.....21
補聴器とイヤモールドの取り外し方法.....22
補聴器のお手入れ.....23
補聴器.....24
マイクの入音口.....24
イヤモールド.....25
チューブの交換.....27
故障と思われる時の対処方法.....28
マイクロイヤセットとイーチップの場合.....30
右耳用と左耳用の区別.....31
補聴器とイーチップの装着方法.....32

補聴器とイーチップの取り外し方法.....33
補聴器のお手入れ.....34
補聴器.....35
マイクの入音口.....35
イヤセット.....36
イヤセットの交換.....38
新しいイヤセットの取り付け方法.....39
チューブの長さとイーチップのサイズ.....39
イーチップロックの取り付け方.....40
故障と思われる時の対処方法.....44
マイクロイヤセットとカスタムイヤチップの場合.....46
右耳用と左耳用の区別.....47
補聴器とカスタムイヤチップの装着方法.....48
補聴器とカスタムイヤチップの取り外し方法.....49
補聴器のお手入れ.....50
補聴器.....51
マイクの入音口.....51
イヤセット.....52
チューブの交換.....54
新しいイヤセットの取り付け方法.....55
チューブの長さ.....56
故障と思われる時の対処方法.....57
補聴器の取り扱い.....59
⚠ 特に注意すること.....61
お客様の補聴器.....63
電気音響的性能.....64

新しい補聴器

この度は、ワイデックスの補聴器をご購入いただきまして、ありがとうございました。

補聴器は精密機器です。本品は販売店とご相談いただきながら、お客様のご要望に合わせて調整することができます。



この取扱説明書のすべてのイラストは、右耳用補聴器を表しています。特に記載がない限り、左耳用補聴器にも同じことが当てはまります。

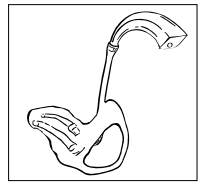
ワイデックスの補聴器にご満足いただけることを願っています。

⚠ 重要

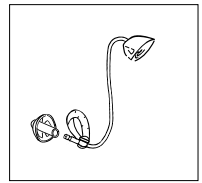
補聴器をお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読み下さい。

イヤセット

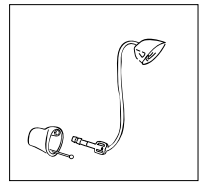
この補聴器に接続するイヤセットは、以下の三種類の中からお選びいただくことができます。



❑ イヤモールド



❑ イーチップ



❑ カスタムイヤチップ

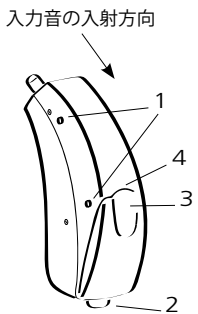
⚠ 重要

この取扱説明書の「概要」の項に記載の内容は、特に記載がない限り、この3種のイヤセットすべてに該当します。ご使用のイヤセットに関する説明につきましては、この取扱説明書後半にあります、それぞれのイヤセットの項をお読み下さい。

各部の名称と機能

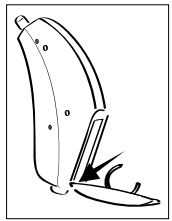
下図は、イヤセットを除いた補聴器本体を表しています。

1. **マイクの入音口：**周囲の音はここから補聴器に入ってきます。
2. **プログラムボタン：**リスニングプログラムを切り替える時に使います。
3. **バッテリーホルダー：**電池を挿入するところです。補聴器のオン/オフ操作にも使用します。
4. **グリップ：**ここに爪をかけて、バッテリーホルダーを開きます。



右耳用補聴器と左耳用補聴器の区別

補聴器を両耳でお使いの場合は、左右を識別しやすいよう補聴器に色つきのマークを付けることができます（赤色＝右耳、青色＝左耳）。詳しくは販売店にご相談下さい。



図の矢印は、マークの位置を表しています。

補聴器の電池

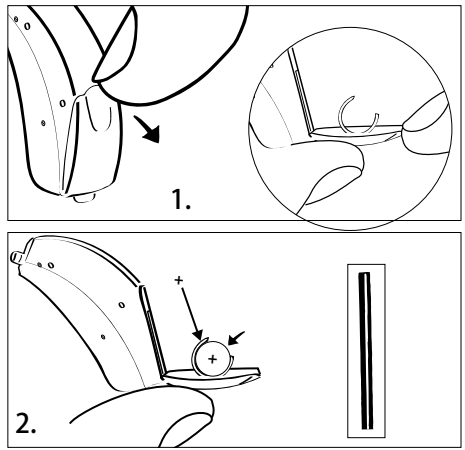
本品には、高品質のワイデックス**空気電池PR536**（**10Aタイプ**）を使用することをお勧めします。

交換用電池のご購入については、販売店にご相談下さい。電池のパッケージに印刷されている使用期限、使用済み電池の廃棄方法にご注意下さい。電池の寿命は、補聴器の設定や1日の使用時間、使用環境などによって異なります。特に冬場は、気温の低下、空気の乾燥、暖房器具などから発生する二酸化炭素などによって、電池の寿命が短くなることがあります。

電池の挿入方法

補聴器に新しい電池を挿入する前に、電池のシールを完全にはがして下さい。シールをはがすと酸素が供給され、電池は数秒後に使用可能な状態になります。電池シールの接着剤などが供給口に付着して取れない場合は、その電池を使用しないで下さい。

1. グリップに爪をかけ、バッテリーホルダーを開きます。バッテリーホルダーを、無理に開きすぎないようにして下さい。
2. バッテリーホルダーに記された小さなプラス記号(+)の側に電池のプラス(+)記号が来るよう、電池を挿入します（下図参照）。付属の電池取り出し用マグネットを使って電池を入れることもできます。

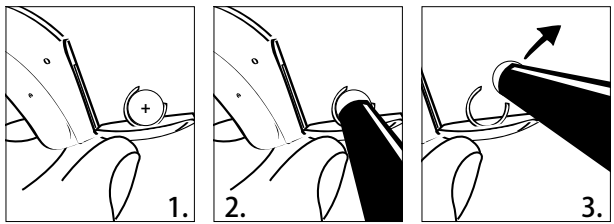


バッテリーホルダーが閉まりにくい時は、電池が正しく挿入されているか、ご確認下さい。

電池は必ず図の通り、バッテリーホルダーに挿入して下さい。バッテリーホルダーを開けて、補聴器の内部に入れないようご注意下さい。

電池の取り外し方法

1. バッテリーホルダーを開きます。
2. 電池マグネットを、電池のプラス(+)側に押し付けます。マグネットが電池に完全に接触していることを確認して下さい。
3. 電池をバッテリーホルダーからまっすぐに引き出します。この時、バッテリーホルダーをひねらないようご注意下さい。
   電池マグネットを使用しない場合は、電池を(-)側からプラス(+)側に押し出すようにします。この時、バッテリーホルダーをひねらないようご注意下さい。

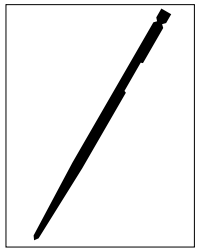


電池消耗時のお知らせ

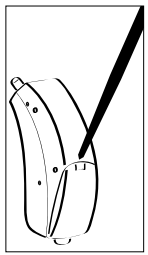
電池が少なくなってくると、補聴器から「プップップップッ」という短い音が続けて聞こえます。電池を完全に使い切ると、補聴器から音が聞こえなくなります。警告音が鳴ってから補聴器がどのくらい使用できるかは、個々に異なりますので、常に予備の電池を持ち歩くことをお勧めします。

警告音を無効にすることもできます。詳しくは販売店にご相談下さい。

消耗した電池を補聴器に入れたまま放置しないようご注意下さい。消耗した電池から電解液が流出すると、補聴器の故障の原因となります。電池を交換する時は、テーブルの上などで行って下さい。



小さな子どもがこの補聴器を装用する場合、勝手に電池を取り出して、誤って口に入れてしまうことを防ぐために、バッテリーホルダーにグリップの付いていないタイプもあります。グリップがない場合は、図のようなツールを使って、下図のようにバッテリーホルダーを開きます。

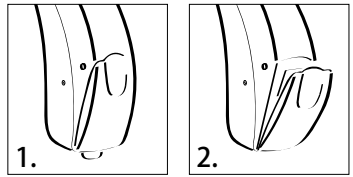


詳しくは販売店にご相談下さい。

補聴器電源のオン/オフ(入/切)操作方法

バッテリーホルダーは、補聴器電源のオン/オフ操作スイッチとしても機能します。

1. バッテリーホルダーを閉じると、補聴器はオンの状態になります。
2. バッテリーホルダーを開けると、補聴器はオフの状態になります。



補聴器をオフにした後、再度オンにする際は、3秒以上お待ち下さい。

補聴器の電源がオンになったことを、ビープ音でお知らせするよう設定することもできます。

補聴器を使用しない時は、必ず電源をオフにして下さい。数日間使用しない場合は、電池を取り出して保管して下さい。

電源を入れたときの補聴器の設定

お客様の補聴器は、補聴器の電源を入れた際に、以下のいずれかになるよう設定されています。

- 補聴器装着時のハウリングを抑える設定（標準設定）。電源を入れてから約12秒間は音が小さくなっています。
- 装着後すぐに補聴器の音が出る設定。この設定では、補聴器を装着する際にピーッというハウリング音が鳴る可能性があります。

設定変更を希望される場合は、販売店にご相談下さい。

音の大きさの自動調整

本品は、周囲の音の環境に応じて音の大きさを自動的に調整します。

⚠重要

補聴器の音が大きすぎる、小さすぎる、音が歪んで聞こえるなどの違和感がある場合は、販売店にご相談下さい。

リスニングプログラム

この補聴器では、最大3つのプログラムを設定することができます。プログラムの追加や変更に関しましては、販売店にご相談下さい。

この取扱説明書の巻末に、お客様の補聴器で利用できるプログラムを記入する欄があります。後でお客様のニーズが変わった場合は、リスニングプログラムの組み合わせを変更することもできます。

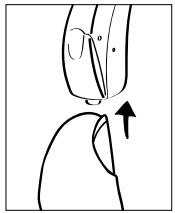
リスニングプログラムは以下の中から選択することができます。詳しくは販売店までお問い合わせ下さい。

マスター：標準的なプログラム

順応：マスタープログラムと同じ機能ですが、増幅を少し抑えています。

ミュージック：音楽（ミュージック）を聴く時に最適なプログラムです。

テレビ：テレビを見る時に最適なプログラムです。

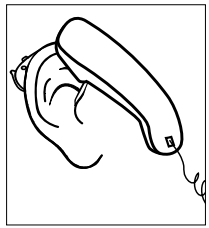


リスニングプログラムの切り替え
補聴器の底部にあるプログラムボタンを使って、プログラムを切り替えることができます。他のプログラムに切り替える度にビープ音が鳴って、変更をお知らせします（お知らせ音を無効に設定している場合を除く）。

プログラム1：短い音（1回）ピッ
プログラム2：短い音（2回）ピッピッ
プログラム3：短い音（3回）ピッピッピッ

誤ってボタンを押してしまい、プログラムが切り替わらないよう、プログラムボタンを無効にすることもできます。詳しくは販売店にご相談下さい。

電話の使用

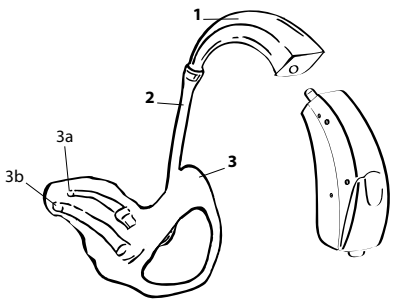


電話をお使いになる場合は、受話器を頭に近づけて持ちます。この時、受話器を直接耳に向けるのではなく、耳の上に向けて下さい。もし、音が聞こえにくい場合は、受話器を少し動かして大きく聞こえるところを探して下さい。

標準フックとイヤモールドの場合

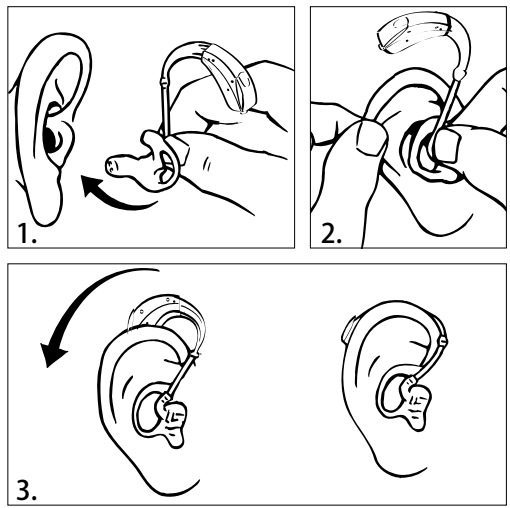
イヤセットは、以下の部分から成っています。

1. **フック**
2. **チューブ**
3. **イヤモールド**
   3a. 音口
   3b. ベント



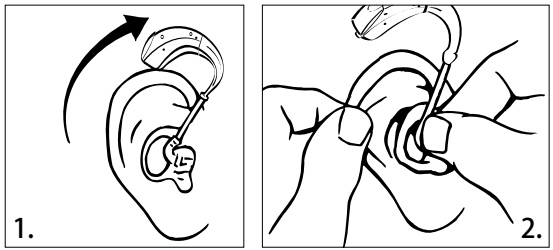
補聴器とイヤモールドの装着方法

1. チューブの下側を持ちながら、イヤモールドを耳道に挿入します。
2. もう一方の手で耳を後方、上方向に引っ張ると、装着しやすくなります。
3. 補聴器を耳の後ろに掛け、フックが耳と頭の間にぴったりと収まるようにします。



補聴器とイヤモールドの取り外し方法

1. 補聴器を耳の後ろから外します。
2. チューブの下側を持ちながら、イヤモールドを耳道から注意深く引き出します。

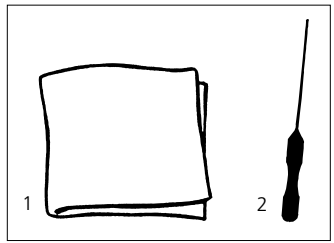


取り外しにくい時は、イヤモールドを左右に揺らしながら引き出して下さい。あるいは、もう一方の手で耳を後方、上方向に引っ張るとよいでしょう。

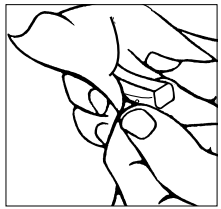
補聴器のお手入れ

同梱されている以下の用具を使って補聴器のお手入れをして下さい。

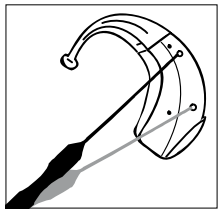
1. やわらかい布
2. クリーニングツール（ベント用）



ご不明な点は、販売店にお問い合わせ下さい。

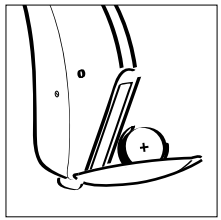


補聴器
使用後、補聴器はやわらかい布で拭いて下さい。補聴器は、決して水や洗剤などで洗わないで下さい。



マイクの入音口
クリーニングツールを通して、2つのマイクの入音口をきれいにします。

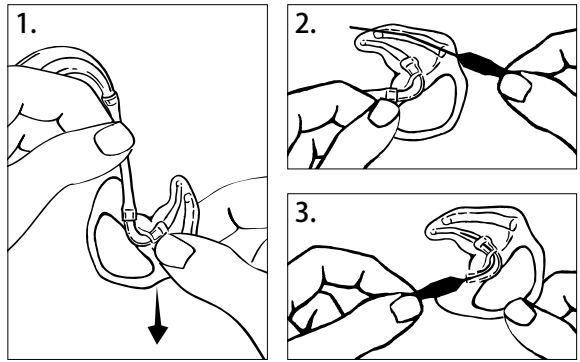
異物を感じる場合は、繰り返し行って下さい。付属のクリーニングツール以外は使わないで下さい。



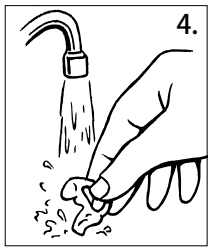
補聴器を使用しない時は、補聴器の通気や乾燥のため、バッテリーホルダーを開けておいて下さい。

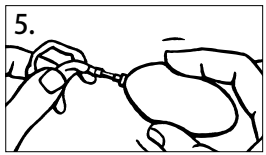
イヤモールド
イヤモールドはきれいな状態に保ち、耳垢や湿気が残らないようにして下さい。イヤモールドには、絶対に洗剤や有機溶剤（アルコール、シンナー、ベンジン）などを使用しないで下さい。

イヤモールドのお手入れ
1. イヤモールドをチューブから外します。
2. クリーニングツールを使って、ベントをきれいにします。
3. クリーニングツールを使って、音口をきれいにします。



4. 少なくとも1週間に1回は、イヤモールドをチューブから外してぬるま湯で洗い、一晩乾燥させて下さい。
5. 次に補聴器をお使いになる時に、イヤモールドにまだ湿気が残っている場合は、ブロワー（別売品）などを使って乾かして下さい。





チューブの交換

イヤセットのチューブが緩くなったり硬くなったりした場合、黄色に変色したり割れたりした場合は、チューブを交換する必要があります。

チューブを交換する場合や、イヤモールドが耳に合わなくなった場合は、販売店にご相談下さい。

故障と思われる時の対処方法

故障と思われる時は、販売店に相談される前に、以下ご確認下さい。

＜補聴器から音が聞こえない時＞
- **バッテリーホルダーはしっかり閉まっていますか**。開閉して確認して下さい。
- **電池が消耗していませんか**。**電池不良ではありませんか**。新しい電池を入れて試して下さい。
- **イヤモールドの音口がふさがっていませんか**。イヤモールドを取り外し、水洗いして下さい。

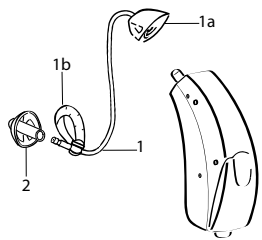
＜補聴器の音が小さく感じる時＞
- **電池残量が低下していませんか**。新しい電池を入れて下さい。
- **イヤモールドの音口がふさがっていませんか**。イヤモールドを取り外し、水洗いして下さい。
- **耳道に耳垢が詰まっていませんか**。耳鼻科医にご相談下さい。
- **最近聴力が変化したように感じる場合**は、耳鼻科医にご相談下さい。

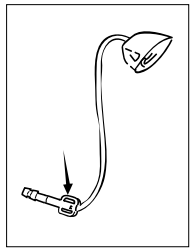
＜ピーッというハウリング音が常に聞こえる時＞
- **耳道に耳垢が詰まっていませんか**。耳鼻科医にご相談下さい。
- **チューブに異常がありませんか**。イヤセットのチューブが緩くなったり硬くなったりした場合、黄色に変色したり割れたりした場合は、チューブを交換する必要があります。販売店にご相談下さい。
- **フックが割れている場合**は販売店にご相談下さい。
- **イヤモールドが耳道に正しく装着されていますか**。一度取り外し、装着し直して下さい。
- **イヤモールドが緩く感じる場合**は、販売店にご相談下さい。

マイクロイヤセットとイーチップの場合

マイクロイヤセット（イーチップ）は、以下の部分から成っています。

1. **チューブ**（細）
   1a. フック
   1b. イーチップロック
2. **イーチップ**



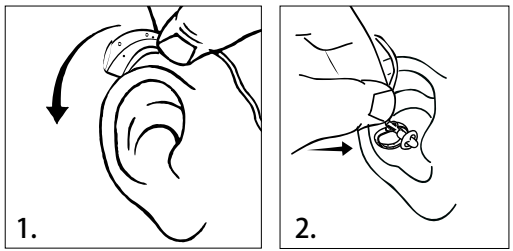


右耳用と左耳用の区別

マイクロイヤセットのチューブは、耳に合ったサイズのものをお使いいただけるよう、右耳用、左耳用、それぞれ異なる長さのものを用意しています。サイズは、チューブに印字されています。赤字は右耳用であることを、青字は左耳用であることを表しています。

補聴器とイーチップの装着方法

1. 補聴器を耳の後ろに掛け、フックとチューブが耳と頭の間にぴったりと収まるようにします。
2. チューブの下側を持ちながら、イーチップを耳道に挿入します。



イーチップロックが正しい位置にあり、イヤセットがきちんと固定されていることを確認して下さい。

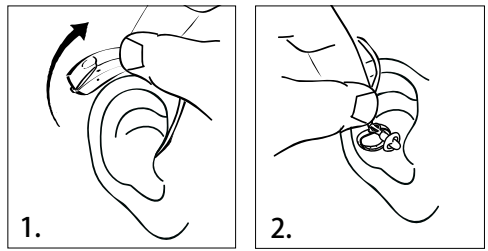
補聴器を装用中、補聴器とイヤセットが正しい位置にあるか、時々ご確認下さい。

⚠重要

イーチップを使用する際には、必ずイーチップロックを取り付けてご利用下さい。イーチップロックがないと、補聴器が外れる可能性があります。

補聴器とイーチップの取り外し方法

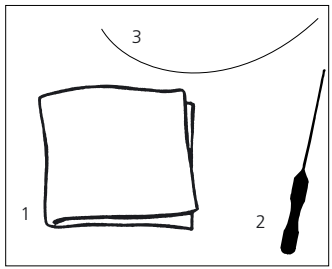
1. 補聴器を耳の後ろから外します。
2. チューブの下側を持ちながら、イーチップを耳道から注意深く引き出します。



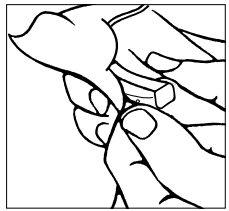
補聴器のお手入れ

同梱されている以下の用具を使って補聴器のお手入れをして下さい。

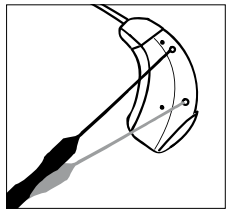
1. やわらかい布
2. クリーニングツール（ベント用）
3. イヤセットのクリーニングツール



ご不明な点は、販売店にお問い合わせ下さい。

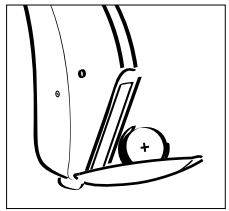


補聴器
使用後、補聴器はやわらかい布で拭いて下さい。補聴器は、決して水や洗剤などで洗わないで下さい。



マイクの入音口
クリーニングツールを通して、2つのマイクの入音口をきれいにします。

異物を感じる場合は、繰り返し行って下さい。付属のクリーニングツール以外は使わないで下さい。



補聴器を使用しない時は、補聴器の通気や乾燥のため、バッテリーホルダーを開けておいて下さい。

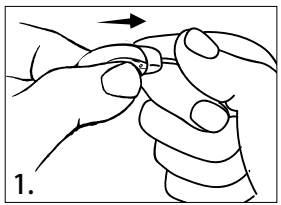
イヤセット

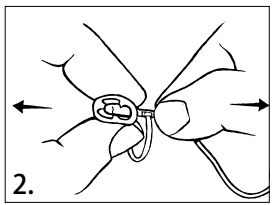
長くご利用いただけるよう、イヤセットは常にきれいな状態に保ち、耳垢や湿気が残らないようにして下さい。

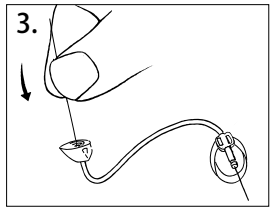
イヤセットは、時々やわらかい布で拭いて下さい。イヤセットには、絶対に洗剤や有機溶剤（アルコール、シンナー、ベンジン）などを使用しないで下さい。

チューブが詰まった時のお手入れ

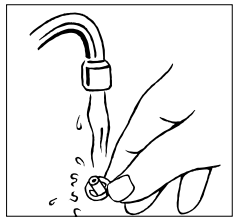
1. マイクロイヤセットを補聴器からはずします。人差し指の上にチューブをかけ、親指と中指でしっかり挟みます。もう一方の手で補聴器を持った状態で、チューブを図の矢印の方向に勢いよく引っ張ります。チューブをはずす道具を使ってもよいでしょう。詳しくは販売店にお問い合わせください。
2. イーチップをチューブから外します。







3. イヤセットのクリーニングツールをチューブに通し、チューブの反対の端から引っ張り出します。



イーチップは水洗いすることができます。チューブからはずしてぬるま湯で洗い、一晩乾燥させて下さい。

イヤセットの交換

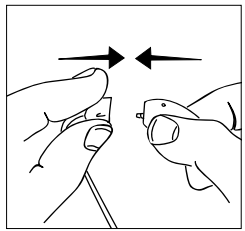
イヤセットは定期的に交換して下さい。イヤセットの寿命には個人差があり、補聴器の使用頻度や耳垢の状態などによって異なります。

イヤセットのチューブが緩くなったり硬くなったりした場合、黄色に変色したり割れたりした場合は、交換する必要があります。

チューブを交換する場合や、イーチップが耳に合わなくなった場合は、販売店にご相談下さい。

新しいイヤセットの取り付け方法

イーチップをチューブに取り付けます。イーチップがしっかり固定されていることを確認して下さい。



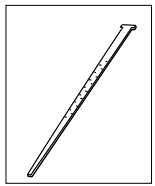
図のように、イヤセットを補聴器の先端部分にカチッと差し込みます。

チューブの長さとイーチップのサイズ

補聴器を正しく装用していただくため、チューブの長さ、イーチップやイーチップロックのサイズは、耳に合ったものを使用して下さい。イーチップロックの取り付け方は次ページからの説明をご覧下さい。また、ご不明な点は販売店にお問い合わせ下さい。

この取扱説明書の巻末に、お客様がお使いになるイーチップのサイズを記しておく欄があります。

イーチップロックの取り付け方

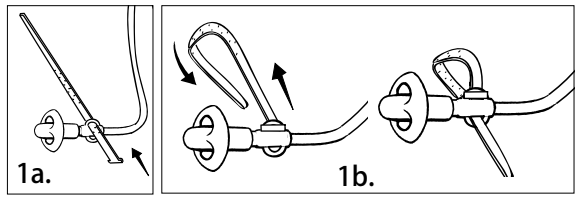


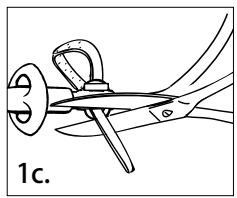
イーチップロックの取り付けや調整については、販売店にご相談下さい。使用するにあたって、お客様の耳に合わせる必要があります。

耳に合った適切なイーチップロックを取り付けると、イーチップが耳道の中で安定します。イーチップロックを取り付けるには次の二つの方法があります。

方法1

1a. イーチップロックの先端を、チューブの上の穴に通して、グリップで止まるまで引っ張ります。
1b. 次に下の穴に通して、小さな輪を作ります。
1c. 輪が耳道に合う大きさになったら、飛び出した部分をはさみで切り落とします。





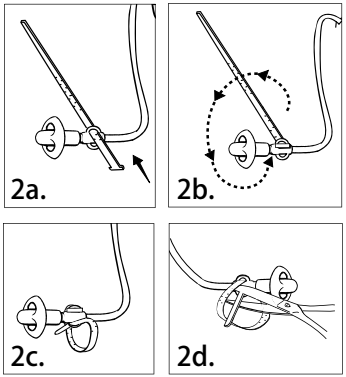
方法2

2a. イーチップロックの先端を、チューブの上の穴に通して、グリップで止まるまで引っ張ります。

2b. 図の点線と矢印で示したように、イーチップロックを回して輪を描きます。

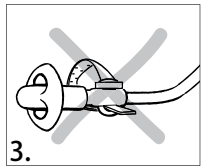
2c. 図のように、先端を2aと同じ方向から下の穴に通して、小さな輪を作ります。

2d. 輪が耳道に合う大きさになったら、飛び出した部分をはさみで切り落とします。



⚠ 注意

3. イーチップロックの先端が、通した下の穴から飛び出していないか、指先で確認して下さい。



イーチップロックの先端が穴から飛び出ていると、耳を傷つける場合があります。切り口が飛び出ている場合は、販売店にご相談下さい。

故障と思われる時の対処方法

故障と思われる時は、販売店に相談される前に、以下ご確認下さい。

＜補聴器から音が聞こえない時＞
- **バッテリーホルダーはしっかり閉まっていますか**。開閉して確認して下さい。
- **電池が消耗していませんか**。**電池不良ではありませんか**。新しい電池を入れて試して下さい。
- **イーチップの音口がふさがっていませんか**。イーチップを取り外し、水洗いして下さい。

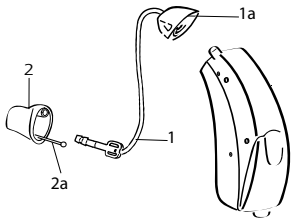
＜補聴器の音が小さく感じる時＞
- **電池残量が低下していませんか**。新しい電池を入れて下さい。
- **イーチップの音口がふさがっていませんか**。イーチップを取り外し、水洗いして下さい。
- **耳道に耳垢が詰まっていませんか**。耳鼻科医にご相談下さい。
- **最近聴力が変化したように感じる場合**は、耳鼻科医にご相談下さい。

＜ピーッというハウリング音が常に聞こえる時＞
- **耳道に耳垢が詰まっていませんか**。耳鼻科医にご相談下さい。
- **チューブに異常がありませんか**。イヤセットのチューブが緩くなったり硬くなったりした場合、黄色に変色したり割れたりした場合は、チューブを交換する必要があります。販売店にご相談下さい。
- **フックが割れている場合**は販売店にご相談下さい。
- **イーチップが耳道に正しく装着されていますか**。一度取り外し、装着し直して下さい。
- **イーチップが緩く感じる場合**は、販売店にご相談下さい。

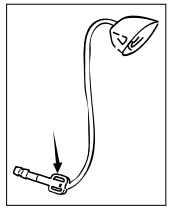
マイクロイヤセットとカスタムイヤチップの場合

マイクロイヤセット（カスタムイヤチップ）は、以下の部分から成っています。

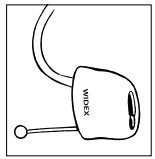
1. **チューブ（細）**
   1a. フック
2. **カスタムイヤチップ**
   2a. テグス



右耳用と左耳用の区別



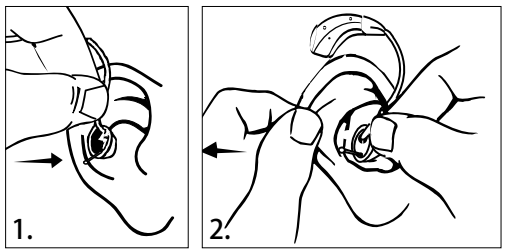
マイクロイヤセットのチューブは、耳に合ったサイズのものをお使いいただけるよう、右耳用、左耳用、それぞれ異なる長さのものを用意しています。サイズは、チューブに印字されています。赤字は右耳用であることを、青字は左耳用であることを表しています。

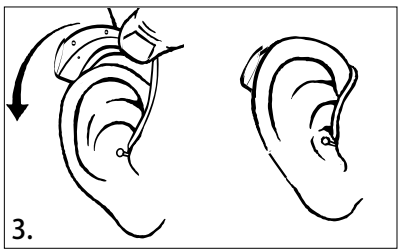


カスタムイヤチップには、"Widex"という文字が印字されています。赤字は右耳用であることを、青字は左耳用であることを表しています。（注文時の有償オプション）

補聴器とカスタムイヤチップの装着方法

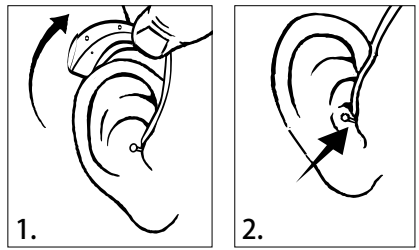
1. チューブの下側を持ちながら、カスタムイヤチップを耳道に挿入します。
2. もう一方の手で耳を後方、上方向に引っ張ると、装着しやすくなります。
3. 補聴器を耳の後ろに掛け、フックが耳と頭の間にぴったりと収まるようにします。





補聴器とカスタムイヤチップの取り外し方法

1. 補聴器を耳の後ろから外します。
2. テグスを持ち、カスタムイヤチップを耳道からゆっくりと引き出します。



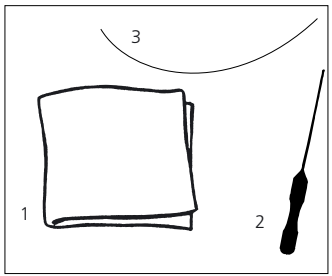
⚠ 重要

カスタムイヤチップを取り外す際は必ずテグスを持つようにし、チューブを引っ張らないようにして下さい。

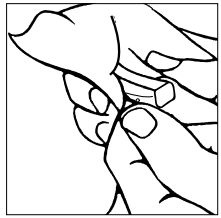
補聴器のお手入れ

同梱されている以下の用具を使って補聴器のお手入れをして下さい。

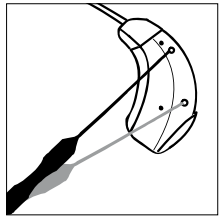
1. やわらかい布
2. クリーニングツール（ベント用）
3. イヤセットのクリーニングツール



ご不明な点は、販売店にお問い合わせ下さい。

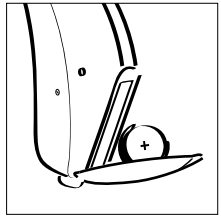


補聴器
使用後、補聴器はやわらかい布で拭いて下さい。補聴器は、決して水や洗剤などで洗わないで下さい。



マイクの入音口
クリーニングツールを通して、2つのマイクの入音口をきれいにします。

異物を感じる場合は、繰り返し行って下さい。付属のクリーニングツール以外は使わないで下さい。

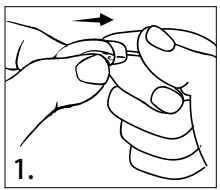


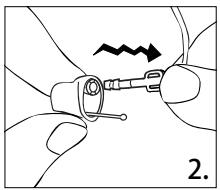
補聴器を使用しない時は、補聴器の通気や乾燥のため、バッテリーホルダーを開けておいて下さい。

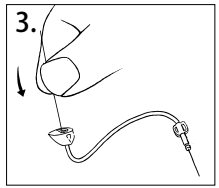
イヤセット
長くご利用いただけるよう、イヤセットは常にきれいな状態に保ち、耳垢や湿気が残らないようにして下さい。

イヤセットは、時々やわらかい布で拭いて下さい。イヤセットには、絶対に洗剤や有機溶剤（アルコール、シンナー、ベンジン）などを使用しないで下さい。

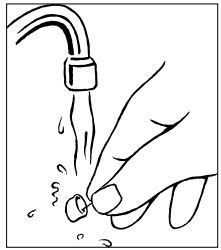
チューブが詰まった時のお手入れ
1. マイクロイヤセットを補聴器からはずします。人差し指の上にチューブをかけ、親指と中指でしっかり挟みます。もう一方の手で補聴器を持った状態で、チューブを図の矢印の方向に勢いよく引っ張ります。チューブをはずす道具を使ってもよいでしょう。詳しくは販売店にお問い合わせ下さい。
2. カスタムイヤチップをチューブからゆっくり外します。







3. イヤセットのクリーニングツールをチューブに通し、チューブの反対の端から引っ張り出します。



カスタムイヤチップは水洗いすることができます。チューブからカスタムイヤチップをはずしてぬるま湯で洗い、一晩乾燥させて下さい。

チューブの交換

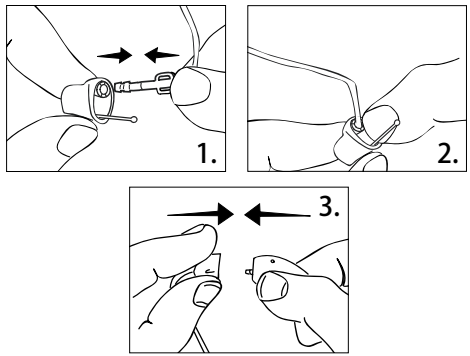
チューブは定期的に交換して下さい。チューブの寿命には個人差があり、補聴器の使用頻度や耳垢の状態などによって異なります。

イヤセットのチューブが緩くなったり硬くなったりした場合、黄色に変色したり割れたりした場合は、交換する必要があります。

チューブを交換する場合や、カスタムイヤチップが耳に合わなくなった場合は、販売店にご相談下さい。

新しいイヤセットの取り付け方法

1. カスタムイヤチップをテグスが下に来るように持ち、チューブにゆっくり取り付けます。
2. 爪でしっかり奥まで差し込みます。
3. 図のように、イヤセットを補聴器の先端部分にカチッと差し込みます。



チューブの長さ

補聴器を正しく装用していただくため、チューブの長さは耳に合ったものを使用して下さい。ご不明な点は販売店にお問い合わせ下さい。

この取扱説明書の巻末に、お客様がお使いになるチューブの長さを記しておく欄があります。

故障と思われる時の対処方法

故障と思われる時は、販売店に相談される前に、以下ご確認下さい。

＜補聴器から音が聞こえない時＞

- **バッテリーホルダーはしっかり閉まっていますか。**開閉して確認して下さい。
- **電池が消耗していませんか。電池不良ではありませんか。**新しい電池を入れて試して下さい。
- **カスタムイヤチップの音口がふさがっていませんか。**カスタムイヤチップを取り外し、水洗いして下さい。

＜補聴器の音が小さく感じる時＞

- **電池残量が低下していませんか。**新しい電池を入れて下さい。
- **カスタムイヤチップの音口がふさがっていませんか。**カスタムイヤチップを取り外し、水洗いして下さい。
- **耳道に耳垢が詰まっていませんか。**耳鼻科医にご相談下さい。
- **最近聴力が変化したように感じる場合**は、耳鼻科医にご相談下さい。

＜ピーッというハウリング音が常に聞こえる時＞

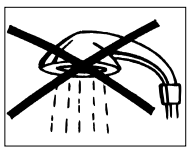
- **耳道に耳垢が詰まっていませんか**。耳鼻科医にご相談下さい。
- **チューブに異常がありませんか**。イヤセットのチューブが緩くなったり硬くなったりした場合、黄色に変色したり割れたりした場合は、チューブを交換する必要があります。販売店にご相談下さい。
- **フックが割れている場合**は販売店にご相談下さい。
- **カスタムイヤチップが耳道に正しく装着されていますか**。一度取り外し、装着し直して下さい。
- **カスタムイヤチップが緩く感じる場合**は、販売店にご相談下さい。

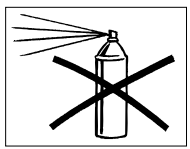
補聴器の取り扱い

補聴器は、適切なお手入れをすることによって、より長くお使いいただくことができます。補聴器の取り扱いについては、次の点に気をつけて下さい。

- 使用しない時は、必ず電源をオフにして下さい。数日間使用しない場合は、電池を取り出して保管して下さい。
- 補聴器は、精密機器として慎重に扱って下さい。使用しない時は、電池を抜いてから乾燥ケースに入れ、子どもやペットの手の届かない、涼しい場所に保管して下さい。
- 使用しない時は、高温、高湿度の場所に保管しないで下さい。
- 乾燥ケースのご使用をお勧めしています。使用しない時にこのケースに入れて、補聴器内の湿気を取るようにしましょう。詳しくは、販売店にご相談下さい。
- シャワーや入浴、洗顔、化粧の前には、必ず補聴器を外して下さい。ヘア・ドライヤーや香水、スプレーなどを使用する時も同様です。

- 補聴器は、絶対にご自分で分解、または修理しようとしないで下さい。
- 超音波療法（理学療法）、レントゲン撮影、MRスキャン（MRI）、CTスキャンなどの放射線治療や撮影を受ける場合は、必ず事前に補聴器を取り外して下さい。使用する放射線の種類によっては、人体に影響を及ぼしたり、補聴器を損傷させることがあります。
- 補聴器は、絶対に電子レンジの中に入れないで下さい。
- この他電磁波を発生する電磁（IH）調理器などの機器や、室内外の防犯警報装置、携帯電話、超音波洗浄器などによっても、補聴器にノイズや歪みが生じる場合があります。
- この補聴器は、鉱山、爆発性ガスのある場所での動作は保証されていません。
- マイクロイヤセットが型崩れしないよう注意して下さい。同梱のケースを使用し、ねじったり押し込んだりしないようにして下さい。





⚠ 特に注意すること

- 補聴器を使用すると、耳垢がたまりやすくなります。耳が耳垢でふさがっていると思われる時は、耳鼻科医にご相談下さい。耳垢が詰まると聞こえが低下するだけでなく、補聴器の効果にも大きく影響します。1年に数回、耳鼻科医で耳垢を除去していただくことをお勧めします。
- 補聴器や付属品は、子どもが口に入れる危険があるため、子どもの手が届かない場所に保管して下さい。また、電池も子どもの手の届かない場所に保管し、使用済みの電池の廃棄にも十分に注意して下さい。子どもの目の前で電池を交換しないようにし、電池の保管場所も見られないようにして下さい。
- 電池は非常に小さいため、錠剤などと間違えやすく危険です。電池や補聴器は、飲み込んでしまう危険性がありますので、決して口に入れないで下さい。万一、誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談下さい。
- 補聴器装用によって正常な聞こえに戻るわけではありませんが、現在の聴力を最大限に活かす助けとなります。新しい補聴器や新しい音に慣れるには時間がかかることもご理解下さい。

- 補聴器を使用中に、万一耳や耳道付近に「かぶれ」が生じた場合は、販売店または耳鼻科医にご相談下さい。
- 耳の通気が不十分になると、外耳道に感染症を起こしやすくなります。補聴器を使用すると、その危険性が若干高くなります。このため、夜は補聴器を外して外耳道を乾かすようにしましょう。必要に応じて、補聴器のお手入れと点検を行って下さい。万一耳に異常を感じた場合は、耳鼻科医にご相談下さい。なお、補聴器は絶対にアルコールや塩素系洗剤などで拭かないで下さい。
- 他人に補聴器を貸したり、譲渡することは避けてください。お客様の聞こえに調整した補聴器を他の人が使用しても耳に合わず、耳を痛める恐れがあります。また、衛生面でお互いに感染症発症などのリスクが生じます。

お客様の補聴器

(販売店で記入します。)

日付:_____

電池のタイプ:_____

イヤセット:

❑ イヤモールド

❑ イーチップ

❑ カスタムイヤチップ

イーチップのサイズ: 左_____ 右_____

チューブの長さ: 左_____ 右_____

リスニングプログラム	設定したプログラムの番号
マスター	
順応	
ミュージック	
テレビ	

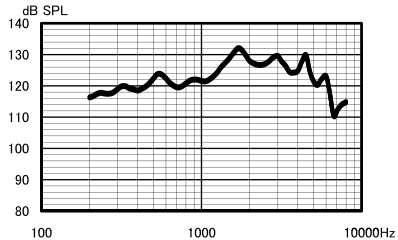
電気音響的性能

電気音響的性能は、JIS C 5512-2000 による。

		RE-m
規準周波数		1600Hz
電池の種類		PR536　1.4V
90dB最大出力音圧レベル	500Hz	122 dB
(※)	1600Hz	130 dB
	ピーク	135 dB 以下
最大音響利得（50dB入力）	1600Hz	56 dB
等価入力雑音レベル（※）		34 dB 以下
電池の電流　（※）		0.8mA 以下
全高調波ひずみ　（※）	500Hz	6.0% 以下
	800Hz	6.0% 以下
	1600Hz	1.5% 以下

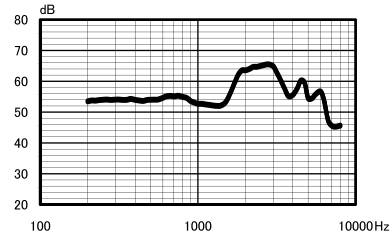
ノーマルフック使用時。（※）テストモード1で測定

90dB最大出力
音圧レベル
周波数レスポンス
(※)

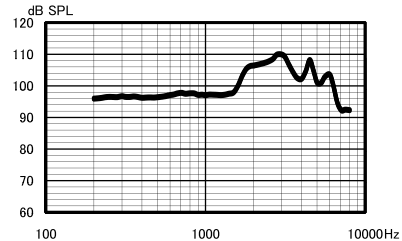


最大音響利得の
周波数レスポンス

入力:50dBSPL



規準
周波数レスポンス
(※)



世界性能、あなたの耳に。

ワイデックス

ワイデックス株式会社

製造販売元　ワイデックス株式会社
〒131ー0034 東京都墨田区堤通1-19-9
リバーサイド隅田セントラルタワー
TEL·0120-332-604（ミミニ ロウホウ）　FAX·0120-332-394（ミミニ サクヨ）
http://www.widexjp.co.jp
許可番号　13B2×00020
管理医療機器

WIDEX A/S • Nymoellevej 6, DK-3540 Lynge
Denmark • www.widex.com

Printed by HTO / 2009-04
9 514 0121 016 #01